

# 新型コロナウイルス感染予防対策禍における保育実習Ⅱ

平 野 知 見

## 1. はじめに

2020年春（4月16日）に発令された緊急事態宣言から、すでに1年という月日が流れた。2021年1月7日の緊急事態宣言は、「保育所、放課後児童クラブなども感染防止策を徹底し防止、原則開所」という内容であり、当初2月7日までの期日は、さらに延期され、最終的に3月21日に解除となった。このような宣言下において、新型コロナウイルス感染への不安が収まらない中、全国の園所は年度初めを迎えた。そして保育士資格取得にむけて、保育実習を伴う保育士養成校は、2020年度に翻弄された実習受け入れの可否に、再び2021年度に入った4月現在においても、同じ心境にならざるを得ない状況である。

本論では、主として2020年度6月に実施予定であった保育実習Ⅱの代替実習（バーチャル保育実習）内容を報告する。また実習生の学びについて彼らの実習簿を振り返ることを通して、新型コロナウイルス禍におけるバーチャル保育実習について検討する。

## 2. 代替保育実習を試みる保育士養成校の状況

保育士になるためには、周知のとおり、大学、短大、専門学校などの保育士養成校で実習など

を重ねて卒業する道と、保育士試験（筆記と実技）を受験して合格する道の二つがある。「2018年度に保育士の資格を取得した約5万9千人のうち、約4万人は養成校を経ている」（朝日新聞デジタル、2020年5月19日付）という。毎年全国の養成校から保育士資格を取得する学生が4万人前後いるとしても、この日本においては、人材不足、保育士不足が深刻化している。この状況の中、保育士養成課程のプロセスにおいて新型コロナウイルスの影響が出ている。2020年4月の緊急事態宣言以降、保育士養成校においては、順次始まる予定だった実習を厚生労働省の通達を基準として延期、または学内実習に切り替えている。厚生労働省は、新型コロナウイルスの影響で、保育園での実習が不可であっても、学内の実習などで必要な知識や技能が身につけば保育士資格を認めるとしている。この厚生労働省による通達や実習延期・代替授業の背景については、柴田・島田（2021、pp.101-102）を参照されたい。

一方で、本来の実習では、実習生が目前の子どもたちの反応をみることで、そして一人ひとりの子どもの背景を受け入れながら、実際の子どもの関わり方や指導案の作り方など先生方の助言をいただきながら体験的に学ぶ貴重な機会であるため、実習の中止の影響は多大にあると筆者は感じていた。しかしながらバーチャル保育実習を通して、少しでも保育現場の状況を

把握し、子どもたちと関わることの感覚が疑似的とはいえ、つかめるといって考えながら、様々な角度から保育実習Ⅱの内容を試行錯誤しながら配信した。

実習内容検討の優先順位として、本報告書で扱う代替実習となった保育実習Ⅱの質を担保するためには、まず平成30年に一部改正された「指定保育士養成施設の指定及び運営の基準について」(厚生労働省雇用均等・児童家庭局長)に記載されている「保育実習Ⅱ(実習・2単位:保育所実習)」の目標及び内容を確認し、その記載に相当する代替実習をしなくてはならないということ念頭におき実習内容作成の準備を始めた(以下参照)。

#### <目標>

1. 保育所の役割や機能について、具体的な実践を通して理解を深める。
2. 子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して、保育の理解を深める。
3. 既習の教科目や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、子どもの保育及び子育て支援について総合的に理解する。
4. 保育の計画・実践・観察・記録及び自己評価等について、実際に取り組み、理解を深める。
5. 保育士の業務内容や職業倫理について、具体的な実践に結びつけて理解する。
6. 実習における自己の課題を明確化する。

#### <内容>

1. 保育所の役割や機能の具体的展開
  - (1) 養護と教育が一体となって行われる保育
  - (2) 保育所の社会的役割と責任
2. 観察に基づく保育の理解
  - (1) 子どもの心身の状態や活動の観察
  - (2) 保育士等の援助や関わり

- (3) 保育所の生活の流れや展開の把握
3. 子どもの保育及び保護者・家庭への支援と地域社会等との連携
  - (1) 環境を通して行う保育、生活や遊びを通して総合的に行う保育
  - (2) 入所している子どもの保護者に対する子育て支援及び地域の保護者等に対する子育て支援
  - (3) 関係機関や地域社会との連携・協働
4. 指導計画の作成・実践・観察・記録・評価
  - (1) 全体的な計画に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程の理解
  - (2) 作成した指導計画に基づく保育の実践と評価
5. 保育士の業務と職業倫理
  - (1) 多様な保育の展開と保育士の業務
  - (2) 多様な保育の展開と保育士の職業倫理
6. 自己の課題の明確化

上記の目標及び内容から、10日間の実習の中で可能な限りバーチャル保育実習であっても、すべてを網羅できるよう考慮した。次にその実際について述べていく。

### 3. バーチャル保育実習方法及び実習の概要

ここでは、オンラインでのバーチャル保育実習とその概要について説明する。

実習期間は、予定されていた実習期間と同様に2020年6月15日(月)から26日(金)の10日間とした。実習生は毎日配信される実習内容を疑似体験し、その実習内容は毎朝6時にユニパの課題提出サイトに掲示された。各実習生の実習簿提出は、ダブルチェックとしてユニパ及び保育・教職サポートセンター(保育担当者へ送信)に提出することとした。提出期日については、毎日配信された当日に提出(毎日提出要)することにより出勤とみなし、出勤表に

については、各自自宅にて出勤表を印刷したものへ押印、及びシフトの時間を記入することを徹底してもらった（後日提出）。

次に訪問担当教員による訪問指導について述べる。実習期間中に各訪問担当教員が、第二週目に一度グーグルミートを使用し（学生から訪問担当教員にアポイントメントを取ることを前提）、実習生一人につき20分から30分面接した。同じ園に配属予定であった場合につき、グループでの面接を可とし、部分または責任実習で何をするのか、指導案及び教材等の提示を必須とし、一連の流れをオンラインで実践・振り返りを行った。加えて訪問担当教員は、保育所実習簿の大学指導教員の講評欄にコメントを記入し、保育・教職サポートセンターに提出（又はメール添付）することとし、訪問担当教員がバーチャル保育実習の中で「園所訪問実施」ということの代替記録とした。

バーチャル保育実習終了後、各実習生は、実習簿の最後に記載する「総合考察」、「実習報告書」を2020年7月7日までに完成し、今までと同様、ユニバ及び保育・教職サポートセンター

への提出することで実習終了とみなした。以上がバーチャル保育実習の一連の方法と流れである。次に実習の概要について説明する。

実習生は、10日間を通して、0歳児から5歳児（年長クラス）までをすべて担当する配属形式とした。実習概要は、パワーポイント動画、資料を配信し、その中で、年齢・発達段階に応じた実習日誌記述、事例検討、指導案作成（部分・責任（1日）実習の2回）、演習ワーク（ロールプレイ）、写真（子どもの姿）及び動画視聴を行うこととなる（以下表1参照）。

日々の事例及び演習ワークのロールプレイについては、すべての子どもの年齢及び保護者や地域、保育者等と関連付け具体的な事例を掲載している酒井・守（編者）の『保育内容「環境」あなたならどうしますか？』（2018）から抜粋させて頂いた。事例・ロールプレイを抜粋しているページ数については、表1の各日程の事例・資料、動画等（ロールプレイ）の枠に記載している。また子どもの写真は一部筆者撮影のもの、そして筆者が所属している学科が連携している園の在園園児の写真（許可あり）を拝借している。

表1：実習概要スケジュール

日程 シフト：休憩含	担当クラス	事例	資料、動画等
第1日目： 6月15日（月） 8時半～17時半	0・1歳児クラス	□0・1歳児 2例 事例1（p.55） 事例2（p.141）	□0・1歳児の発達課題と保育のポイントに関する資料（大津市） □0歳児写真
第2日目： 6月16日（火） 7時半～16時半	0・1歳児クラス	□0・1歳児 2例 事例1（p.119） 事例2（p.145）	□音楽リズム動画（1歳児） □1歳児写真
第3日目： 6月17日（水） 8時半～17時半	2歳児クラス	□2歳児 2例 事例1（p.111） 事例2（p.106）	□2歳児の発達課題と保育のポイントに関する資料（大津市） □2歳児写真
第4日目： 6月18日（木） 7時半～16時半	2歳児クラス	□2歳児 2例 事例1（p.69） 事例2（p.96 ➡時期変更）	□音楽リズム動画（2歳児）

第 5 日目： 6 月 19 日（金） 8 時半～17 時半  13 時半～15 時： 園内研修参加	部分実習（午前）の 指導案作成のため 0・1 歳児クラス又は 2 歳児クラスを選択		<input type="checkbox"/> 研修：小規模保育園理事長動画「子どものアートをどう見るか」
週末配信			月曜日から木曜日までの事例について、実習生の実習簿の記述を振り返りながら事例検討したものをパワーポイント動画で配信
第 6 日目： 6 月 22 日（月） 7 時半～16 時半	3 歳児クラス	<input type="checkbox"/> 3 歳児 2 例 事例 1 (p.107 ➡時期変更) 事例 2 (p.164 ➡時期変更)	<input type="checkbox"/> 3 歳児の発達課題と保育のポイントに関する資料（大津市） <input type="checkbox"/> 3 歳児写真 <input type="checkbox"/> 手洗い指導を午前の活動に取り入れる 手洗いソング動画 ♪ Wash your hands ♪
第 7 日目： 6 月 23 日（火） 8 時半～17 時半	3 歳児クラス	<input type="checkbox"/> 3 歳児 2 例 事例 1 (p.192 ➡一部加筆) 事例 2 (p.179)	<input type="checkbox"/> 保育者による遊び動画内容を午前の活動に取り入れる ♪タオルで遊ぼう♪
第 8 日目： 6 月 24 日（水） 8 時半～17 時半	4 歳児クラス	<input type="checkbox"/> 4 歳児 2 例 事例 1 (pp.63-64) 事例 2 (pp.71-72)	<input type="checkbox"/> 4 歳児の発達課題と保育のポイントに関する資料（大津市） <input type="checkbox"/> 4 歳児写真 <input type="checkbox"/> パワーポイント動画「ロールプレイ」(p.82) <input type="checkbox"/> 手洗い指導
第 9 日目： 6 月 25 日（木） 8 時半～17 時半	5 歳児クラス	<input type="checkbox"/> 5 歳児 2 例 事例 1 (p.63 ➡時期変更) 事例 2 (p.181 ➡一部変更)	<input type="checkbox"/> 5 歳児の発達課題と保育のポイントに関する資料（大津市） <input type="checkbox"/> 5 歳児写真 <input type="checkbox"/> パワーポイント動画「ロールプレイ」(p.195) <input type="checkbox"/> 手洗い指導
第 10 日目： 6 月 26 日（金） 8 時半～17 時半	責任実習（午前・午後） の指導案作成のため 3 歳、4 歳、5 歳児クラスから選択		<input type="checkbox"/> GOOGLE MEET による訪問指導（日時は 2 週目 1 度）
週末配信			月曜日から木曜日までの事例について、実習生の実習簿の記述を振り返りながら事例検討したものをパワーポイント動画で配信

## 4. バーチャル保育実習の実際 (パワーポイント動画)


ここでは、実習生へ配信されたパワーポイント動画のみ紹介する。

### 第1日目（担当0-1歳クラス）

**はじめに（各自が行うこと）**

- 本日の課題の前に確認すること
  - ・オリエンテーションの記録、園の概要、配属クラスの様子等
  - ・一日の生活の流れ（実習先の流れ、標準的な年齢別の流れ）
- 写真、事例、動画
  - ・実習日誌の中に観察記録として記述⇒「実習を終えて」内で考察
  - ・日誌の中で記録として記載していく。足りない場合⇒「エピソード記録」（日付、エピソード、考察）
- 事例についての保育ポイントは第一週終了時に配信

**写真**  
0歳児



**1歳児**

**事例①：ヒナタ、1歳9か月**

保育士の食事をとるスペースで、1歳児15名が各保育者の援助を受けながら給食を食べていた。今日の給食には、コロケが入っていたのだが、それぞれ自分でスプーンを使って食べた。保育者が口元まで運ぶと大きな口を開けて食べていた。

ところが1歳9か月のヒナタくんは、担当保育者がスプーンで口に入れてよとすると、顔を横にそむけてイヤイヤと首を振って食が進まない。栄養士がその様子を見て保育者と相談し、ヒナタくんにとっては衣のガラガラした口の中の感触が嫌なのかもしれないと推察し、あえて衣を外してジャガイモをつぶして成形した物を提供するよう対応をとった。すると、ヒナタくんは衣なしなら自分から食べるようになった。

ヒナタくんの食の状況を栄養士と保育者との連携で、次の日の給食づくりに役立てた。さらにこうした連携を保護者とも回りながら毎日行うことにより、ヒナタ君の食の幅が広がっていった。

ヒナタのように食事を提供しても食べようしない乳児と出会う機会は保育場面ではよくあることです。そのような場合、あなたならどのような対応をしますか？

実習日誌に記録として記載しましょう。この事例に対しての考察は、実習日誌の「実習を終えて」の枠に書いてください。

**事例②：タクトくん、4か月**

入園して20日余りがたち、園の生活に少しずつ慣れてきた生後4か月、0歳児クラスのタクトくんは、担当保育者に抱かれて初めて園庭に外気浴に出た。保育者は、タクトくんが一人ででも外の気持ちよさが味わえるように、日差しを避けて桜の木の下にゴザを広げ、そこにバスケットを敷いてそとに寝かした。桜の葉っぱの木陰で春らしいそよ風や春の光を、じっと身じろぎせず全身を使って感じようとしていたタクトくんだった。時折、桜の葉が揺れるとその合間から陽が差し、まぶしさに目を閉じていた。

その後、大きいクラスの子どもの歌や歌声が聞こえてきて、タクトくんはそのたびに声のほうに顔を向けた。桜の木の下に寝ていながらも、五感を最大限に働かせて様々なことを感じ取ろうとするタクトくんの姿が見られた。保育者は、また発語がない4か月児のタクトくんにも「お外は気持ちいいねー」「葉っぱが揺れているねー」「大きい組さんが歌っているねー」と声をかけ、気持ちを通じ合わせ、15分程の外気浴の時間を終えた。

生後4か月の子どもに対して、あなたなら植物に触れる機会をどのように考えて提供しますか？

### 第2日目：（担当0-1歳クラス）

**本日の主となる活動**

今日の活動には

- ①音楽リズム
- ②散歩

上記が含まれています。

一日のどの時間帯に設定するのかは自由ですが、1歳児の生活の流れを考えて、活動、保育者の配慮や子どもの姿等を具体的に観察・想像し、詳細に実習日誌に記録し考察してください。


皆さんへの問い（朱書き部分）は毎回発展的に考察しますが、各事例・動画そのものの考察も毎回忘れず記録してください。

保育実習Ⅰ（保育所）での記録を思い出し、しっかり記載しましょう。

**音楽リズム動画**

○北村聡子先生の音楽リズム（リ・ミック）を視聴してください。  
小さく見辛い場合は、以下のURL（YOUTUBE）から視聴してください。  
<https://youtu.be/gDpmvfmv2GI>

○前半4分が1歳児クラス  
（後半が2歳児クラス・第4日目使用）  
北村先生が活動している流れ・動きや援助・子どもの姿等観察できたことを実習日誌に記録し考察しましょう。  
動画内で使用している絵本：絵本「だれのもの」  
さくえ accototo



**事例①：0歳、保護者**

園の保健室を随時開放し、園のそばを通りかかった母親がわが子に母乳をあたり、哺乳瓶でミルクを飲ませたりできる場所にしてある。園門正面の壁にも「保健室は開放中です。いつでもお立ち寄り下さい」という看板が掲示してある。

6月梅雨の中休み、買い物途中の親子が授乳場所として保健室の利用を申し出た。湿気と暑さの中、母子共に重たい、一休みしたかったのだろう。もちろんすぐに保健室に招き入れ、ミルクを溶く適温の湯も提供した。母親は持っているミルクの粉を湯で溶かし、哺乳瓶で赤ちゃんに飲ませた。その後、ベッドでおむつ替も済ませた。母親は、わが子の体重が平均体重より増えないことや、ミルクの量が少なくて悩んでいることを打ち明けた。看護師は、夏場は汗をかく分、体重が増えない事案や、平均体重より小さいでも、貧血漢や元気がない面などのアドバイスをした。母親は安心して表情で御礼を述べて帰っていった。

園所は、在園の子どもや保護者のためだけにありません。地域に開かれた子育て専門機関の役割について、あなたならどのようなことを考えますか？

**事例②：1歳**

園からいつも散歩に出かける公園までの決まった道のりの途中で、毎回のように出会う首輪をした飼い猫が一匹いた。園を出て、最初の角を曲がってしばらく歩くと、一軒の家の塀のへりにその猫は並んでおり、その道を走れば会えることがわかった1歳児クラスの子どもたち。リナちゃんは、猫の姿を見つめる前から「ねこ、いる」「ねこ、すき」と独り言を言っていた。

その時、「予定通り」？その猫に出会うと、リナちゃんは体をかがめて猫の顔をのぞく。怖がる様子もまったくなく、猫も慣れたもので、子どもたちが大きな声で「あ、ねこ、いた」「すわってやるよ」などと言ったり、何度も話しかけたりしても、平然としたままであった。保育者が「公園で遊んで、帰りにまた猫ちゃんに会おうね」と声掛けすると、リナちゃんはじめて1歳児クラスみんなが納得して、その場を離れた。

園で動物を飼えない状況にあった場合、あなたならどのようにして生き物とかわる機会を生み出していきますか？



## 第3日目：2歳児クラス

## 本日の主となる活動

今日の活動には

- ①事例：朝のブロックあそび
  - ②写真：見立て・つもり遊び
- 上記が含まれています。

上記の活動は、一日のどの時間帯に設定するのは自由ですが、2歳児の生活の流れを考えて、活動、保育者の配慮や子どもの姿等を具体的に観察・想像し、詳細に実習日誌に記録し考察してください。

皆さんへの問い（未書き部分）は毎回発展的に考察しますが、各事例・写真そのものの考察も毎回忘れず記録してください。

保育実習Ⅰ（保育所）での記録を思い出し、しっかり記載しましょう。

## 写真：2歳児

見立て・つもり遊び



午睡前の着替え  
自分でボタンとめ



## 事例①：2歳

保育室では、毎朝ブロック遊びが行われていた。登園時間の早いカンタンくんは、保育室にあるブロックがお気に入り。登園するとすぐにブロックのところにいき、ブロックを手元を集めて家を作ったり、車型のブロックを作り走らせたりして遊んでいる。しかし、他の子どもが次々に登園すると、ブロックで遊びたず子が多くなってきた。

登園時間の遅いミトくんがブロック遊びを始めようとして、ブロックのところにいくと、ブロックがほとんどない。そこで、机の上に置いてあったブロックを壊して何かを作ろうとすると、カンタンくんが「だめ！」「ミトくんを叩こうとする。保育者が慌てて止めに入るとカンタンくんは「だめ！だめ！カンちゃんのこと！」と泣き叫ぶ。ミトくんは理解できない表情でキョトンとしている。

ブロックの取り合いで泣き叫ぶカンタン、キョトンとするミト。あなたは、このようなことを防ぐために、どう環境を構成しますか？

## 事例②：2歳

自分の名前を覚えてうれしかったタカシ君は、話をするたびに「タカシくんね〜」とってから話を始める。それを聞いていたタツヤくんも、応えるかのように「タツヤくんね〜」と同じように話をするようになった。次第に、「タカシくんね〜」「タツヤくんね〜」と二人で言い合うようになった。近くで二人の様子を見ていた保育者も「タカシくんもタツヤくんも楽しそうね」と声をかけた。ここで保育者は二人の名前の冒頭文字である「た」の部分で少し強調するように話した。

すると今度は「た」の字（発音）が同じであること、名札の名前の最初の文字が同じ形であることに二人は気がついた。うれしかった二人は楽しそうに、名札を見ながら「た」の字に力を込めて互いの名前を繰り返しながら言い合い合う。

名前の発音から名札の最初の文字が同じと気づき、二人は文字に興味をもつようになりました。あなたなら、他にどのようなやり方をし、環境を整えますか？

## 第4日目：2歳児クラス

## 本日の主となる活動

今日の活動には

- ①音楽リズム
  - ②事例：シャボン玉遊び
  - ③写真：身体あそび、シール貼り（ビニール袋）
- 上記が含まれています。

一日のどの時間帯に設定するのは自由ですが、2歳児の生活の流れを考えて、活動、保育者の配慮や子どもの姿等を具体的に観察・想像し、詳細に実習日誌に記録し考察してください。

皆さんへの問い（未書き部分）は毎回発展的に考察しますが、各事例・写真・動画そのものの考察も毎回忘れず記録してください。

保育実習Ⅰ（保育所）での記録を思い出し、しっかり記載しましょう。

## 写真：2歳児の姿

黄色シャツの子どもに注目



身体あそび  
一緒に楽しい



シール貼りをしたビニール袋  
影が地面に！不思議！



## 音楽リズム動画

○北村聡子先生の音楽リズム（リ・ミック）を視聴してください。

以下URL（YOUTUBE）

<https://youtu.be/gDpmvfmv2GI>

○後半4分が2歳児クラス

（前半が1歳児クラス：第2日目視聴済み）。

北村先生が活動している流れ・動きや援助・子どもの姿等、観察できたことを実習日誌に記録し考察しましょう。



## 事例①：2歳児

2歳児クラスの保育室の隣に2歳児クラス専用のトイレがある。初夏に向けて薄着になり、かつ排泄の回数が2〜3時間くらい空いてきた6月中旬に、2歳児クラスでのトイレトレーニングが始まった。排泄のタイミングとしては、片付けの後、散歩に行（前後）、給食の前後、午睡の後などにおいて促すとともに、遊びや活動の途中でも排尿・排便したそうなのが子どもにある時は、必ず気づいた保育者がトイレに誘った。

2歳児のほとんどが、遊びに没頭しているときにトイレに行くのを嫌がり、取り柄の便座が合っていないことを嫌がり、2歳児に親しみやすいウンダやソウなどの動物の絵をトイレに貼り、便座にはタオル地のカバーを掛けて明るい雰囲気トイレにした。保育者「ソウさんが待っているからトイレに行こうか」「先生がズボンとパンツを途中で下ろすから、後は自分でできるかな？」などと働きかけ、たとえ排泄が失敗したとしても、その子ども自身が自らトイレに座った事実をまずは褒めて認めた。

家庭にも、園でのトイレトレーニングの状況を口頭やクラス便りなどで伝えとともに、次第に子どもが各自のペースでトイレに行けるようになったことを、家庭は大人仕様なので、2歳児が使いやすい台の設置、排水用レバーにむいての座り方なども協力をお願いし、園と家庭が同時進行で排泄の自立を促していた。トイレの環境や排泄を促す方法が家庭と園が同じようになると、2歳児はトイレへの抵抗感が薄まり排泄の自立に向かった。

排泄の自立にむけて、園から家庭に具体的な取り組み方法や園での様子を伝えていた。あなたは、これが子どもにとってどのような意味を持つものだと考えますか？

## 事例②：2歳児

6月、梅雨の晴れ間に、アサヒくん、ミカちゃん、テルコキくんの3人が、保育者と「シャボン液をつけたストローの方に口を含まない」「友だちの顔に向けて吹かない」ことを約束して、2階のテラスでシャボン玉遊びを始めた。

保育者は市販の専用液とストローを準備して、2歳児でも容易にシャボン玉が作れるように配慮していた。3人は、最初は思い切り吹いたり逆にこわく吹いたりしていた。

次第に吹く加減がわかってきて、ゆっくりそととシャボン玉が大きくなること、勢いよく吹くと細かいたくさんのシャボン玉ができることに気づく。その様子をまわりの友だちや保育者に「見てー」「ほら（そとと吹く）」「大きいー」「わー（強く吹く）」「いい出た」など口々に楽しそうに伝えてきた。

石鹸の性質を利用したシャボン玉遊びですが、うまくシャボン玉が膨らまない子どもに対して、あなたはどのような援助をしますか？

## 第6日目：3歳児クラス

### 本日の主となる活動

今日の活動には

- ①午前の手洗い指導（3歳児に手洗いソング「Wash your hands」を使った手洗い指導をする）
- ②写真：人形あそび、火災訓練（体験）
- ③事例：自由あそび（絵筆をつかったあそび（描画）の発見）

上記が含まれています。

一日のどの時間帯に設定するのは自由ですが、3歳児の生活の流れを考えると、活動、保育者の配慮や子どもの姿等を具体的に観察・想像し、詳細に実習日誌に記録し考察してください。

皆さんへの問い（未書き部分）は毎回発展的に考察しますが、各事例・写真そのものの考察も毎回必ず記録してください。

保育実習Ⅰ（保育所）での記録を思いだして、しっかり記載しましょう。

## 第5日目：選択（0～1歳 or 2歳児クラス）

### 本日の主となる活動

今日の活動には

- ①部分実習（実習生によるクラス選択）
- ②園内研修（13時半～15時まで）：小規模保育園理事長（和泉氏）が園で職員向けに子どものアートをどう見るかというテーマで講演をしていただくという設定。時間内に実践の振り返りも実施（写真あり）。  
→この研修に実習生も参加するという設定。  
「子どものアートをどう見るか」に関連する動画（2本）  
上記が含まれています。

部分実習は午前中に設定してください。そして0～1歳児または2歳児の生活の流れを考えて、部分実習の指導案用紙に計画してください。また日誌には、今まで同様、活動、保育者の配慮や子どもの姿等を具体的に観察・想像し、詳細に記録し考察してください。

園内研修は13時半～15時までの設定をお願いします。

写真・動画そのものの考察も忘れず記録してください。

保育実習Ⅰ（保育所）での記録を思いだして、しっかり記載しましょう。

### 写真：3歳児の姿



### 写真：園内研修

（講演後研修時間内で職員で実際の子どもの姿（写真）を見て振り返る様子）



### 写真：3歳児の姿（園での火災訓練） ・消防隊員体験・消防車前で記念撮影



### 事例①：3歳

新型コロナの影響で通園を自粛していたコウスケくんは6月に入園したばかり。初めてのことで知らない場所になれるのに時間がかかる。玄関から保育室、そしてトイレや水飲み場などを移動するたびに不安になり泣いていた。保育者が丁寧にこれからのことを知らせたり友だちと一緒に行動するとよいことを伝えたりしたが、コウスケくんの不安は取り除けなかった。

今朝、コウスケくんから「黄色の花の絵の（靴の）ところに行きたい」との言葉を聞いた保育者は初めてのことかわからず考えた。いろいろ聞いてみたが首を振るようである。泣きながら指さす方向にコウスケくんを思いのまま行ってみると、そこは、たんぼ組の靴箱だった。「そうか、黄色の花というのは、たんぼ組の絵だったのね」と保育者は納得した。また的確な言葉で表現できないコウスケくんの最大限の表現だったのである。それから保育者は、共同で使うおもちゃ箱やトイレなどをコウスケくんマークで知らせて行動を促すようにした。

新しい環境になじみにくいコウスケに、あなたなどどのように関わり、環境を整えますか？

### 事例②：3歳

先週の雨上がりの日に、バケツに絵筆だけ何本か入れて園庭の側溝のところに置いた。園庭の半分は土、残り半分はアスファルトでできているため、時々乾いたアスファルトに保育者がジョウロの水で絵を描いた。くねくねを描いたりしてゲームや運動遊びをしていたことがある。今日も保育者がジョウロを使って、いつものようにアスファルトに描いて数人と遊んでいた。

すると、ミルくんが側溝のところに小さいバケツと絵筆を持って、アスファルトの園庭にできた水たまりの水を使い、地面に線を描きだした。「黒い色で絵が描けたよ」「すごい、いっぱい描いたよ」と目の前の発見に大満足だった。実は先週、この同じバケツに絵の具を入れて絵筆を使い、紙に絵を描いたことをミルくんは思い出したのだった。

子どもが興味や関心をもって取り組むことができる「描く」活動として、あなたなら他にどのような活動を用意しますか？

## 第7日目：3歳児クラス

## 本日の主となる活動

今日の活動（及び子どもの姿）には

- ①昨日に続いて午前の手洗い指導（3歳児に手洗いのソング Wash your hands ♪ を使った手洗い指導をする）
- ②写真：ままごとあそび、洗濯はさみあそび
- ③動画：タオルで遊ぶ！
- ④事例：運動あそび（巧技台）

上記が含まれています。

一日のどの時間帯に設定するのは自由ですが、3歳児の生活の流れを考えると、活動、保育者の配慮や子どもの姿等を具体的に観察・想像し、詳細に実習日誌に記録し考察してください。  
皆さんへの問い（朱書き部分）は毎回発展的に考察しますが、各事例・写真・動画そのものの考察も毎回忘れず記録してください。  
保育実習Ⅰ（保育所）での記録を思いだして、しっかり記載しましょう。

## 写真：3歳児の姿

ままごとあそび



かみ剪毛を洗濯ばさみで挟みだす



## 事例①：3歳

新型コロナウイルスの影響による自粛登園が解除され、一斉活動が始まると、カコちゃんはいつち部屋の片隅に座り込んで、ロッカーの中に入ったり、友だちの様子を見ていることが多かった。一方でオオくんやタカくんは、部屋の中を走り回り、そのうち最後には座る場所が限られて「どこに座ればいいんだ」とか「ここだったら座りたくない」「ここじゃ見えない」「僕が先に座った」などと気に入った場所がないとか、場所の取り合いを起すことがあった。そのような時、保育者は、カコちゃんに座るように促しながらも、オオくんやタカくんにも、早く座ることのできる場所に座れることを伝え続けた。しかし、二人は自主的に座ることはなかった。

解除から4週目の月曜日、保育者は生き物グループを決めると同時に、一斉活動の時に座る場所を決めることにした。机に名前シールを貼るほか、机がない集まりの時のために床にビニールテープを貼って座る場所をわかりやすいようにした。

そして火曜日の今日、朝の会で、保育者が「入りの座る場所が決まっていることを伝える。片付けの時間になりカコちゃんや部屋にくると、すぐにイスをもってきて自分の席に座る。みんなが席に書いた、オオくんやタカくんが部屋にきた。二人は自分の席を確認するとイスを持ってきて自分の席に座る。グループの友だちと話した。」

保育者がビニールテープを貼って位置を決めたのは、カコちゃんを座らせるためだけではなく、あなたはどの意図をどのように考えますか？

## 事例②：3歳

入園当初、ホールに設置しておいた巧技台の上から飛び降りる遊びに、3歳児たちの人気が集まっていた。新入園3歳児は、初めは並ぶことがわからず、押し合いはし合ひして大混雑になってしまし、とても危なかった。この状態に気づいた保育者は、床にビニールテープでワザキの線1つと丸（○）を9個貼った。保育者が台からジャンプしたのを友達、ワザキの顔のところに並ぶと、子どもたちは最後尾のワザキの顔の場所に行き、その中で並んで待つ。そこから次々と順番に丸に巧技台までのびつくと、無事ジャンプできた。「並ぶの上手だね」と並んで順番に飛べば、危なくないねと保育者が話すと、子どもたちも納得し、次第に子どもの方から「順番！」「並んで！」「等とまわりの友だちと言言葉も出てきた。

年少児の押し合いの大混雑が起きたら、  
あなたならどのようにして解決しますか？



## 第8日目：4歳児クラス

## 本日の主となる活動及び出来事

今日の活動（及び子どもの姿）には

- ①午前の手洗い指導（4歳児に手洗いのソング Wash your hands ♪ を使った手洗い指導をする）
  - ②写真：三輪車のとりあい
  - ③事例：多目的室での二人、保護者との連携
  - ④ロールプレイ：園での栽培
- 上記が含まれています。

一日のどの時間帯に設定するのは自由ですが、4歳児の生活の流れを考えると、活動、保育者の配慮や子どもの姿等を具体的に観察・想像し、詳細に実習日誌に記録し考察してください。  
皆さんへの問い（朱書き部分）は毎回発展的に考察しますが、各事例・写真・動画そのものの考察も毎回忘れず記録してください。  
保育実習Ⅰ（保育所）での記録を思いだして、しっかり記載しましょう。

## 写真：4歳児の姿

## 三輪車の取り合い



## 事例①：トモキとワタル、4歳

園には、多目的室がある。多目的室は、いつでも園児が入って遊べることになっている。6月のある日、時々、年中児のトモキくんやワタルくんが出入りしているのを知っていたので、保育者は、そと穴の開いた段ボールで作った家を置いてみた。多目的室からトモキくんやワタルくんが出てきた。保育者が通りかかると、その姿を見かけるが、二人は何も言わない。保育者もあえて何も聞かなかったが、実はこのような光景は何度か見かけていた。

ある日、同じように多目的室からトモキくんが出てきて、たまたま通りかかった保育者に「あのね、僕たち秘密基地を作っているんだよ」と小声で教えてくれた。「誰にも内緒だよ」と言って、そと多目的室に入れてくれた。すると、前に置いておいた穴の開いた段ボールは、入り口に小さなマットが重ね下げられて取り付けられ、基地へと変化していた。

多目的室で二人だけで遊んでいるトモキとワタル。保育者は自分からの直接的な関わり（援助）はあまりしていない様子です。あなたならどのように関わりますか？

## 事例②：アズ、4歳

アズちゃんは最近「先生、こっち来て」と保育者の手を引いたり、いつも保育者の近くにいることが多くなりだしてきて、今週の間経つと、今度は戸外で遊ぶ際に上着を着る時も「先生できない」とアズちゃんを持って保育者に援助を求めてくる。保育者は「ここに置いて」「ここを持って引っ張る」となど伝えるが「できない」と言って泣き始める。さらに保育者は、この頃、降園時にいつもなら母親に駆け寄ることがなくなっていることに気づいた。

保育者はどうも母親とアズちゃんの間を距離を感じたため、アズちゃんの最近の様子を伝えつつ、母親に家での様子を聞くことにした。すると、母親から「妊娠5か月で、今までつわりもひどくて」という答えが返ってきた。それから、保育者はアズちゃんの気持ちを受け止め、要求をできるだけ受け入れるようにしていくことにした。

母親のおなかの大きさが目立つにつれて、アズちゃんは今まで通り笑顔で友達と遊ぶようになってきた。そして「こんど赤ちゃんができるんだよ。言っちゃだめだよ」「楽しみなんだ」と保育者にこっそり話をしようになった。

アズの変化に気づいた保育者は、慎重に保護者と連絡をとりました。あなたなら、アズの様子からどのような予測を立てて、どのような方法で母親と話を進めていきますか？

## 演習ワーク：ロールプレイ「探求心を意欲につなげる」

〈ねらい〉

子どもがものの特性に気づき、理解を深めていく中で活動に対して意欲をもつことができるように環境を構成する力を養う。

○次にでてくる事例の状況に沿って音声の流れます。

○セリフ①、②はマユミ先生の気持ちになって考えて話してください。



**登場人物：探求心の強いショウくん、意欲的なケイチちゃん、保育者**

5月に植えたハツカダイコンが枯れてしまい、みんなで話をしている。  
 ショウくん：どうしてちゃんと育たなかったんだろ。  
 ケイチちゃん：ちゃんと水やりしたのにな。  
 マユミ先生：そだね、なんだろうね。（①）  
 ケイチちゃん：きつとなんでかわかるね！  
 ショウくん：よし、そうしよう！  
 ケイチちゃん：ちゃんと育て方がわかったら、もう一度ハツカダイコン育てようよ。  
 ハツカダイコンって辛いんでしょ。でも、おいしく食べる方法はあるのかなあ。  
 マユミ先生：どうせ食べるならおいしく食べたいよね。（②）に聞いているの？  
 ショウくん：うん、きつとおいしい食べ方知ってるよな。  
 ケイチちゃん：ほかの野菜も植えてみたら？  
 マユミ先生：面白そうね。何がいのかが相談してみよう。

**演習ワーク：ロールプレイ「探求心を意欲につなげる」**

〈実習簿〉  
 午前の時間帯にロールプレイの内容を観察したということで記録してください。実習日誌に記載しましょう。可能であれば、**エピソード記録用紙**に「日付」、「エピソード（客観的事実）」、「考察（感じたこと・考えたこと）」を分けて書きましよう。

〈ポイント〉  
 題材のハツカダイコンや、その他子どもでも取り組める園で栽培しやすい植物や、その育て方などについても調べましよう。「**実習を終えて**」に書いてください。

**事例①：ヒロト、5歳**

6月の5歳児クラスでは氷鬼、色鬼などの鬼ごっこブームになっていた。ヒロトくんはもとも運動が得意なほうではなく、室内遊びをすることが多かったが、友達と一緒に鬼ごっこをすることで、最近外遊びを多くするようになった。

そんな中、いつものように園庭で氷鬼をしていてヒロトくんが捕まり鬼になった。あつちへこつちへと友だちを追いかけついでヒロトくんが保育者のところに来て、息を切らして「広すぎてぜんぜん捕まられないよ」と言った。足の速い子どもは、広い園庭をどんどん逃げていき、走っても追いつかない。いつもは何でもできる広い園庭だが、この時は捕まらなくなったことになった。

保育者に「広すぎてぜんぜん捕まられないよ」と氷鬼の鬼となったヒロトくんが言った時を、あなたはどのような機会と捉え援助を行いますか？

**事例②：5歳**

今日はお弁当日、年長組が保育室で弁当の支度をしている。ダイムんたちが集まっているテーブルでワイワイと声が上がっている。担任保育者が目を見たら、「ダイムん、ちがう！」と言う声と共に、テーブルの上を飛び回っている。担任がダイムんたちのテーブルに到着する前にもう一度雑巾が空を飛び、跳いて「あー！」と高く数人の声がある。見ると、ダイムんの弁当箱の上に雑巾が乗っている。ダイムんは驚いて弁当の中身を無事だったが、テーブルの子どもたちはみんな表情をこわばらせている。担任はダイムんの弁当箱を注意深く清潔に洗いながら「雑巾を触った人」は手洗いをし直すことを指示する。神妙な顔で何人かの手を洗い直し、ダイムんも安心した様子で着席したのを確認し、クラスでいただきますの挨拶をする。

食べはじめたところで、担任はダイムんたちに「さきのことば、お弁当が落ちたらこのグループの人たちみんなで、ちゃんとお話しましよう。お弁当を片付けたい時に待っててね」と伝える。

食事がすすんだ後、担任がダイムんたちに「さきのことば、お弁当が落ちたらこのグループの人たちみんなで、ちゃんとお話しましよう。お弁当を片付けたい時に待っててね」と伝える。

このような時、子どもたちが事実としっかり向き合えるように、あなたならどのような関わり方をしますか？

**第9日目：5歳児クラス**

**本日の主となる活動**

- 今日の活動（及び子どもの姿）には、  
 ①午前の手洗い指導（5歳児に手洗いソング♪ Wash your hands ♪を使った手洗い指導をする）  
 ②野菜の苗植え  
 ③お弁当日  
 ④事例2-ケースから見る子どもの姿  
 ⑤ロールプレイ：歯磨き

上記が含まれています。

一日のどの時間帯に設定するのは自由ですが、5歳児の生活の流れを考えると、活動、保育者の配慮や子どもの姿等を具体的に観察・想像し、詳細に実習日誌に記録し考察してください。  
 皆さんへの問い（未書き部分）は毎回発展的に考察しますが、各事例・写真・動画そのものの考察も毎回忘れず記録してください。  
 保育実習Ⅱ（保育所）での記録を思い出し、しっかりと記録ましよう。

**写真：5歳児の姿**

**野菜の苗植え**



**演習ワーク：ロールプレイ「自発的な予防活動を促す」**

〈ねらい〉  
 子どもの活動の取り組み方や目的をわかりやすくするとともに、さらに経験を広げることができる環境を構成する力を身につける

〇次の画面では、事例の状況に沿って会話声が流れます。

〇事例の人物になりきり、演じて話ましよう。**セリフ①～④は、選択された言葉（やってみる・やりたくない）に合わせて、人物の気持ちになって考えて話してください。**音声で流れるのは（やってみる）です。両方のパターンをやってみましよう。

**登場人物：歯磨きをいやがるユリちゃん、励ますケンくん、保育者**

給食後に保育室で子どもたちが歯磨きを行い、保育者が歯磨きをしない子に声掛けをしている。

マユミ先生：みんなしっかり磨けているかな？

ユリちゃん：歯磨ききらい！できない！

マユミ先生：しっかり磨かないと虫歯になっちゃうよ。ユリちゃんどうしていやなの？

ユリちゃん：（①）

ケンくん：えへ、ほくはできるよ。

マユミ先生：そっか。ユリちゃんはそれがいやなんだね。（②）

ユリちゃん：うん、それならやってみよう。いやだ、やりたくない。（選択）

マユミ先生：じゃあ、（③）

ケンくん：ユリちゃん、いっしょにやってみようよ。

マユミ先生：ユリちゃん、（④）がんばってね。

ユリちゃん：うん、がんばってみる！

**演習ワーク：ロールプレイ「自発的な予防活動を促す」**

〈実習簿〉

給食後の時間帯にロールプレイの状況を加えて実習日誌に記録ましよう。詳細については、可能なかぎり、自分の言葉で**エピソード記録用紙**に「日付」、「エピソード（客観的事実）」、「考察（感じたこと・考えたこと）」を分けて書きましよう（どうしても無理な人は日誌に記録）

〈保育のポイント〉

子どもにもわかりやすく説明できるように、正しい歯磨きのやり方や虫歯についてどのように実践したいか、実習日誌の「**実習を終えて**」の枠に書いてください。

## 第 10 日目：選択（3 or 4 or 5 歳児クラス）

**本日の主となる活動**

今日の活動には

- ①責任（1日）実習（実習生によるクラス選択）
- ②手洗い指導（可能であれば）

上記が含まれています。

責任実習は8時半～17時半（シフト）を設定してください。そして選択したクラスの生活の流れを考えて、1日実習指導案用紙に計画してください。

また指導案には環境構成、保育者の関わりや留意点、予想される子どもの姿等を具体的に詳細に計画・作成してください。

※部分実習、責任実習で使った教材など作成したものは写真等で画像保存しておくこと。

- 保育実習指導Ⅱで学んだ指導案作成について復習
- 3・4・5歳の姿（資料）を熟読
- 今回配信している事例の保育ポイントを視聴

➡上記3事項をおこない、指導案を最終確認すること

以上が実習生へのパワーポイント動画配信（資料含まず）である。

## 5. 実習生の学びに関する記述から見えてきたこと

ここでは、実習生の実習簿から読み取れたことを要約してまとめる。

実習生の実習簿の「総合考察」の中で一番多く記述のあった彼らの気づきは、バーチャル保育実習とはいえ、毎日配信される子どもの様子や保育者とののかかわりを通して（事例から）、保育全般に参加し、様々な保育技術や個々の子どもに合わせた対応方法を、まず自分自身で時間をかけて考え習得することができた、ということであった。特に個人差、生活環境に伴う乳幼児の生活や育ちの実態を、事例を通して理解しその具体的な対応を学び、実際に指導案を作成し、部分実習・一日実習を疑似体験する中で、実践的なスキルの向上も少なからずできたということであった。もちろん、本来の保育実習Ⅱであれば、子どもを前にして「時間をかけて」子どもの対応を考えることは、保育現場では不可能であるが、今回初めて事例をじっくり読み解き「自分であれば、どのように対応するか」ということを考えることができたのは、良い機会だったという意見もあった。

実習生は、保育実習Ⅰ（保育所）の際に保育

所の機能についての理解を深めているが、具体的な事例を通して、多様な保育ニーズを踏まえた保育所の機能、保護者とのコミュニケーションの方法、地域社会と保育所のかかわりや、連携の在り方について改めて学んだという記載もあった。保育士の職業の意義や職業倫理を理解すると共に、保育所の保育士に求められる資質・能力・技術に照らし合わせて、自分の課題を明確にすることは、バーチャル保育実習では、ハードルの高い難題であったかもしれない。しかし、日々実習生として「なりきり」、事例や動画・画像をもとに子どもの姿を想像し取り組み、自分の弱点（例えば、子どもたちのいざこざへの対応、保護者対応等）を挙げ、自分の課題として今後克服していきたいという彼らの思いが、このバーチャル保育実習を通して伝わってきた。

## 6. おわりに

2021 年度に突入したにも関わらず、新型コロナウイルスの収束の見通しが立たない中、関西圏において拡大傾向が顕著となってきたと報告された（朝日新聞デジタル、2021 年 4 月 6 日付）。本報告でバーチャル保育実習（保育実習Ⅱ）を実施した 18 名の 4 回生は、2020 年 3 月に全員が無事に社会へ巣立っていった。当たり前のように「保育実習」は時期がくれば全員行うことができると信じていた教職員、そして学生たちであったが、新型コロナウイルス感染拡大という誰も予想しなかった、かつ経験したことない状況に陥ってしまった。そして大学生生活最後の保育実習が、彼らの卒業を前に制限されるなどの困難を経て、最終的にバーチャル保育実習の実施を余儀なくされた。初めてのバーチャル保育実習が開始される前の実習生たちは、「どのように実習をオンラインで進めてい

くのか」という不安と、実習予定先の園所が決定し、どのような園所なのか事前調査をしていたにもかかわらず、自分がこれから体験するバーチャル保育実習への不安は、彼らから受けた質問を思い返すと相当のものだったと改めて感じている。保育所保育士を目指していた実習生にとっては、最後の実習であったため、この機会を使って、就職にもつなげたいと考えていた実習生も実際にいただろう。バーチャル保育実習に代替したとはいえ、どこまで本来の実習のカバーができたかはわからないが、ある学生が「実際に実習ができなかったのは残念ですが、バーチャルで実習内容を考えてくださってありがとうございました。この機会にゆっくり事例を考えることができて、良かったです」という感想をもらい少し安堵したが、当時は他の保育士養成校と代替実習の内容に差がついてはいけないという思いが先行していたということと、なんとかメディアを駆使して実習生たちに毎日配信しなければというプレッシャーがつきまとった。今振り返ると、実習生の実習簿を読むことで、こちらから発信する内容がどこまで伝わっていたのか、彼らの理解度を図りながら、なんとか最後までいきつけたのではないかと感じる。

保育士が足りない、そして園所は新型コロナウイルスの感染予防対策を行った上で開園・開所し続けるという保育現場で、保育士として第一歩を踏み出しているバーチャル保育実習を終了した卒業生たちには、心からエールを送りたい。そして、これから保育実習を控えている学生たちには、再び保育実習を行うことができなくなった場合においても、本来あるべき実習の質を保障しなければならないと痛感している。実習生を送る養成側、そして実習生を受け入れる園側が双方向に、連携を取りながらバーチャル保育実習内容を検討することも今後必要に

なってくるだろう。本報告書が、バーチャル保育実習や学内実習の代替内容や対応を改めて考えるきっかけとなり、保育者として質の高い学生を輩出することにつながることであれば幸いである。

## 引用・参考文献

1. 朝日新聞デジタル「実習できない! 看護・保育・医学生ら悲鳴『座学では…』」  
(2020年5月19日付)  
[https://digital.asahi.com/articles/ASN5K5CMTN5GUTFL003.html?iref=pc\\_ss\\_date\\_article](https://digital.asahi.com/articles/ASN5K5CMTN5GUTFL003.html?iref=pc_ss_date_article)  
(2021年4月6日閲覧)
2. 朝日新聞デジタル「実習中止に学生悲鳴 看護師・医師…国家資格目指すが人ありきの職座学だけでは」  
(2020年6月12日付)  
[https://digital.asahi.com/articles/DA3S14510545.html?iref=pc\\_ss\\_date\\_article](https://digital.asahi.com/articles/DA3S14510545.html?iref=pc_ss_date_article)  
(2021年4月6日閲覧)
3. 朝日新聞デジタル「国内で新たに2657人感染 近畿地方で拡大傾向が顕著」  
(2021年4月6日付)  
<https://digital.asahi.com/articles/ASP467VQGP46UTIL00Y.html>  
(2021年4月6日閲覧)
4. 厚生労働省子ども家庭局子育て支援課「緊急事態宣言が発出された地域における保育所等の対応について(周知)」  
(2021年1月7日付)  
<https://www.mhlw.go.jp/content/11920000/000716411.pdf>  
(2021年4月6日閲覧)
5. 大津市・大津市教育委員会『大津市幼児教育・保育共通カリキュラム』(デジタルブック)  
[http://sv\\_pc.ecocat-cloud.com/lib/ecolab/export/d78a449d\\_43b91499/book.html?bid=100&startpage=1&url=http://sv\\_pc.ecocat-cloud.com/&key=873a50b962aecb05cc79340dc267f591&callback=afterComp](http://sv_pc.ecocat-cloud.com/lib/ecolab/export/d78a449d_43b91499/book.html?bid=100&startpage=1&url=http://sv_pc.ecocat-cloud.com/&key=873a50b962aecb05cc79340dc267f591&callback=afterComp)  
(2021年4月6日閲覧)

6. 酒井幸子・守巧編『保育内容「環境」あなたならどうしますか?』萌文書林, 2018.
7. 柴田長生・島田香「新型コロナウイルス蔓延下における保育実習Ⅲーバーチャル施設実習の試みー」『京都文教大学臨床心理学部研究報告』vol.13, 2021, pp.101-113.